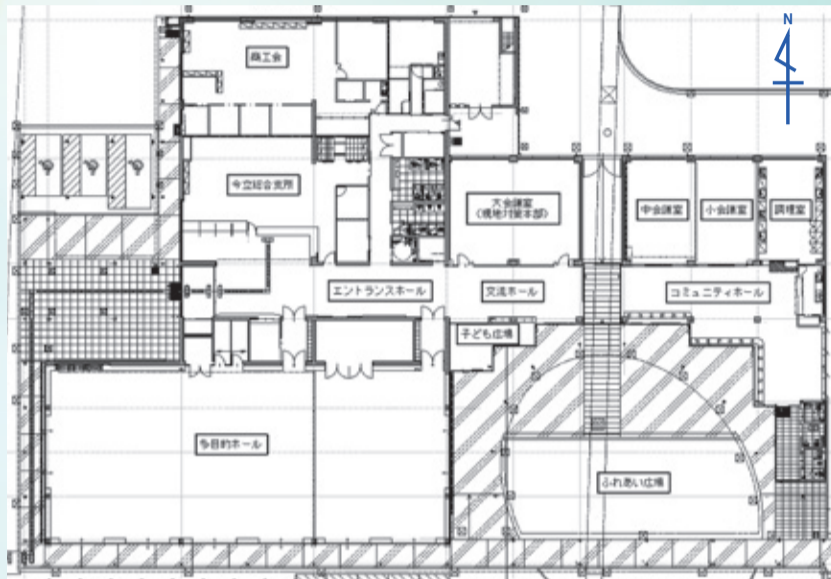


平成30年(2018年)5月15日(火)
 発行 編集 越前市議会
 〒915-8530
 福井県越前市府中一丁目13番7号
 TEL:0778-22-3426
 FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



越前市あいぱーく今立 平面図



越前市あいぱーく今立 概要

- ・ 建築面積 約2,042㎡
- ・ 延床面積 約1,885㎡
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造平屋建て
- ・ 供用開始 平成30年9月25日

あいぱーく今立 今秋オープン!

平成30年度当初予算を可決

3月定例会で総額604億638万円の平成30年度当初予算が可決されました。当初予算には、今年9月に供用開始となる、今立総合支所が入居する複合施設「越前市あいぱーく今立」の建設関連予算が含まれています。

「越前市あいぱーく今立」は今立総合支所の他、越前市商工会が入居し、多目的ホールや会議室などが整備され、市東部地域の防災・コミュニティ等の拠点施設として、期待されています。本会議や委員会では、施設の維持管理や管理運営に関する質疑があり、理事者からは利用者団体等の意見を聞きながら、市民が利用しやすい施設としていくとの答弁がありました。

完成パース (西側から)



完成パース (南側から)



越前市
あいぱーく今立
工事風景

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案質疑
- 4~5面 ◆ 14議員が市政をたずね (一般質問)
- 6~7面 ◆ 委員長報告
- 8面 ◆ 議会モニター1年を振り返って

3月定例会の概要

平成30年第2回越前市議会定例会は、2月21日から3月19日までの27日間にわたって開かれました。

この定例会では、平成30年度一般会計予算案など予算案14件、越前市あいぱーく今立設置及び管理条例の制定など条例案13件、財産の無償貸付け他一般議案など2件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、本会議最終日に原案どおり可決されました。

また、副市長、人権擁護委員に関する人事案など4件に同意、障がい児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書案1件を可決、議員の派遣1件を承認しました。

このほか、議会モニター制度を明記することを盛り込んだ議会基本条例の一部改正案が可決されました。

平成30年度 当初予算決まる

総額 604億638万円 (前年度比1.4%減)

一般会計	371億1,600万円 (前年度比0.9%増)
特別会計	203億5,942万3千円 (前年度比6.1%減)
企業会計	29億3,095万7千円 (前年度比4.7%増)

3月定例会 議案審議



平成30年度当初予算審議

■実施設計では市民や議会の意見を十分反映せよ

市民センター整備事業

12227万8千円

問 市民センター3階で絵本を借りて帰ることができるようにできないか。

答 実施設計の中で、市民センター3階の子ども広場を監修するかとことし氏の思い、市民や議会の意見を聞きながら検討していく。

行政協力交付金の増額内容と理由

地域自治振興事業

1億7011万1千円

問 各町内に交付する行政協力交付金の改定内容は。

答 2割増を基準として、1町内当たり均等割を8000円増額して2万3000円に、世帯割を1世帯250円増額して1750円に改定した。

問 行政協力交付金を増額した理由は。

答 いきいきふれあいのつどいや町内の見守り活動の推進など、近年の社会情勢等を背景に区長の行政協力業務が増えてきていることから増額を行った。



各町内で行われている「いきいきふれあいのつどい」

ひとり親家庭等児童の学習支援の人数

ひとり親家庭等自立支援事業

1841万4千円

問 昨年度から立ち上げたこの事業内容は。
答 小学4年生から中学3年生までのひとり親家庭の児童で、会場の福祉健康センターま

で送迎してもらえる方を対象に学習支援している。現在の登録児童数は28名で、そのうち小学生が8名、中学生が20名である。

ふるさと踊り(サマーフェスティバル)を武生中央公園で開催

観光イベント支援事業

1600万円

問 ふるさと踊りの会場を変更する理由は。

答 昨年の参加団体との反省会の中で駐車場不足の問題が出たため、会場を武生中央公園に変更することを実行委員会で決定した。踊り以外にも大型遊具の運行や飲食店の出店などにより、より多くの人でにぎわう祭り会場になるように努める。



昨年のふるさと踊りの様子
今年は武生中央公園で開催される

U・I・Jターン就職奨励金の支給内容

雇用促進対策事業

396万6千円

問 越前市にU・I・Jターンされた方に出す奨励金の事業内容は。

答 市内にU・I・Jターンして就職されたご本人には10万円、ご家族に5万円、さらに創業された方には10万円を加算して交付するものである。

外国人児童生徒支援のため、言語指導員などを配置

外国人児童生徒支援事業

3755万円

問 市内に外国人児童・生徒は何人在籍しているのか。
答 幼稚園5園に22人、小学校は10校に

140人、中学校は4校に56人在籍している。

問 外国人児童生徒支援事業の出身は。

答 ブラジルの子どもがふえているため、日本語指導を行う言語指導員、翻訳や保護者との通訳を行うアクセスワーカー、学校で学習支援を行う外国人児童・生徒教育支援員の賃金などである。



外国人児童への日本語指導の様子

県道の消雪施設の次期整備内容

県営道路整備事業

4360万円

問 県道において消雪施設の整備を行う予定があるのか。

答 平成30年度において、武生美山線の新在家から北町の交差点まで、武生米ノ線の千福から広瀬の消雪事業の一部が予算計上されているが、工事の完成予定時期は県から示されていない。

条例審議

越前市越前打刃物振興施設設置及び管理条例の制定について

発信

問 設備使用料等が細かく規定されているが、時間あたりの使用料が高くなっているのはなぜか。

答 工房等の設備は、基本的に旧工業解放試験場で使用していた越前打刃物関係の設備をメンテナンス等して設置するのと同時に、従前の使用料を引き継いでいる。

問 他の産地との競争に打ち勝つために、どのような対策を講じているのか。

答 越前打刃物技術の保存継承を図るため、伝統工芸士による後継者の指導を行う。また、資料収集および展示、包丁の試し切り、刃物教室などの各種イベントを通じて、越前打刃物の歴史および工芸文化を発信する。

平成29年度3月補正予算審議

狭隘道路除雪の認定基準は

地域自治振興事業

4584万6千円

問 今回の大雪で、自治振興事業交付金の対象となる狭隘道路除雪の認定路線の延長は。

答 認定路線の総延長は、市内全17地区で104.07キロメートルである。

問 市の狭隘道路除雪の認定基準は。

答 ①自治振興会または町内会など地域住民の責任で除雪する路線。②公共用の道路であり、道路の最小幅員が2メートル以上。③沿道に民家が面しているなどが必要条件だが、地域の通学路や避難経路はこの限りでない。



狭隘道路には多くの雪が積もった



今秋完成予定の越前打刃物振興施設のイメージ図

議案の議決結果

平成30年第2回越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第2号	平成29年度越前市一般会計補正予算(第7号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
議案第3号	平成29年度越前市下水道特別会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第4号	平成29年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第5号	平成29年度越前市介護保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第6号	平成29年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第7号	平成29年度越前市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第8号	平成29年度越前市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第9号	平成30年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決(多数)
議案第10号	平成30年度越前市下水道特別会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第11号	平成30年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決(多数)
議案第12号	平成30年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第13号	平成30年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第14号	平成30年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第15号	平成30年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第16号	越前市あいばーく今立設置及び管理条例の制定について	総務	可決(全員)
議案第17号	越前市役所支所及び出張所設置条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第18号	越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第19号	越前市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	総務	可決(多数)
	越前市職員の退職手当に関する条例等の一部改正についてに対する修正案		否決(多数)

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第20号	越前市印鑑条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第21号	越前市国民健康保険条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第22号	越前市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第23号	越前市国民健康保険条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第24号	越前市介護保険条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第25号	越前市福祉型児童発達支援センター設置及び管理条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第26号	越前市越前打刃物振興施設設置及び管理条例の制定について	産業建設	可決(全員)
議案第27号	越前市都市公園条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第28号	越前市営住宅条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第29号	財産の無償貸付けについて	総務	可決(全員)
議案第30号	福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少等について	総務	可決(全員)
議案第31号	越前市議会基本条例の一部改正について		可決(全員)
議案第32号	副市長の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第33号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第34号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第35号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
意見書案第1号	障がい児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	教育厚生	可決(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：賛、反対：否、欠席：欠)

議案	件名	賛 否																						
		市民ネットワーク					未来					誠和会				政新会		共産		自越		諸		
		小玉俊一	霜実男	吉田啓三	三田村輝士	佐々木富基	佐々木哲夫	小形善信	中西眞三	伊藤康司	福田往世	大久保健一	清水和明	川崎俊之	前田一博	安立里美	城戸茂夫	川崎悟司	加藤吉則	前田修治	西野与五郎	片粕正二郎	吉村美幸	
議案第19号	越前市職員の退職手当に関する条例等の一部改正についてに対する修正案(否決)	否	欠	否	退席	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	賛	
議案第19号	越前市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について(可決)	賛	欠	賛	退席	賛	否	否	否	否	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	否	否	
議案第9号	平成30年度越前市一般会計予算(可決)	賛	欠	賛	賛	賛	否	否	否	否	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否
議案第11号	平成30年度越前市国民健康保険特別会計予算(可決)	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛

(注) 議長は採決には加わっていません。

誠和会：誠和会(自民・公明) 共産：日本共産党議員団 自越：自民党越前 諸：諸派

3月定例会で採決された人事

副市長の選任に同意

河瀬信宏氏(京町二丁目)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

山本隆徳氏(庄田町)

中嶋曉美氏(大虫本町)

上道英夫氏(柳元町)

3月定例会で議員の派遣を承認

先進事例を調査研修するため、各常任委員会の行政視察を行います。日程、視察先および主なテーマは次のとおりです。

- ◆総務委員会(5月9日～10日)
 - 長野県岡谷市 「イルフラプラザについて」
 - 長野県塩尻市 「塩尻市市民交流センター(えんぱーく)について」
- ◆教育厚生委員会(5月8日～10日)
 - 山梨県南アルプス市 「生活支援体制整備事業について」
 - 東京都西東京市 「西東京子ども放課後カフェについて」
 - 静岡県袋井市 「時間通貨を用いた相互扶助モデルについて」
- ◆産業建設委員会(4月24日～25日)
 - 静岡県富士市 「f-Bizの取り組みについて」
 - 岐阜県恵那市 「ICTを活用した獣の見える化による獣害対策について」

3月定例会 一般質問

3月定例会では、14人の議員が2月28日・3月1日・2日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

水道

水道事業の広域化を進めよ

国は水道事業の広域化を進めるため、水道法の一部改正を行おうとしている。越前市は水道事業の広域化を進める考えはあるのか。

水道事業の広域化は、経営基盤や技術基盤の強化の面で将来的に必要であり、施設整備や施設管理の合理化の促進という面からも非常に有効であると考えている。現在県において、広域化に向けた市町の意見を調査している段階であり、今後の県の動向を注視していきたい。

他の質問項目

・中心市街地活性化について



政新会 城戸 茂夫

除雪

除雪機械の十分な確保を行え

今年の豪雪は昭和56年に匹敵するが、当時と違い自動車が台数が倍になったことから、道路除雪への要望が大きくなっている。除雪機械やオペレーターは足りていたのか。

通常の降雪時には現体制で対応できているが、今回の大雪では、業者に多大な負担をかけた。オペレーター不足や除雪機械の確保は全県的な課題であることから、特殊免許取得と除雪機械の確保に対する補助制度の創設を知事に対し市長が要望書を提出したところである。

他の質問項目

・広域農道の渋滞対策について
・屋内子ども広場について



市民ネットワーク 小玉 俊一

2018福井豪雪を受け、狭隘道路の除雪費支援を拡充せよ

狭隘道路を地域で除雪した際の交付金の単価(29円/m)を、大雪時には排雪費用も考慮し拡充すべきではないか。

今回の記録的大雪により、市民生活に密着した生活道路(狭隘道路)の除雪費用等に関して、地区自治振興会や町内会には多大な負担があったと聞いている。市では現在、地区自治振興会に狭隘道路除雪に関する課題等を照会しており、今回の大雪の課題について自治連合会とも協議の上、総括・検証を行い、今後総合的に検討していく。

他の質問項目

・市内小中学校のトイレ100%洋式便器へ
・視覚障がい者誘導ブロックについて



誠和会(自民・公明) 川崎 俊之

「豪雪」に対する対応と教訓を示せ

今回の豪雪を受け、業者の能力にあつた配置と、業者間の応援を指示すべきである。また雪害時に県外自治体からの受援計画を作成すべきでないか。

除雪委託にあつては、業者のオペレーター数や除雪機械を調査し工区を決定するが、今回の大雪では除雪が遅れた路線で、近隣工区の業者に応援を求めている。除雪という特殊業務につき、県外自治体との協定は困難であるが、福井県と市町が締結している災害時応援協定により、重機や食品の応援等、支援体制の整備を求めている。

他の質問項目

・市内にて従事する外国人の動向と定住化



未来 小形 善信

福祉健康センター・(仮称)市民センター

民間商業施設への市税投入は理解されるか

地方自治体の多くは、特定の民間商業施設に多額の市税を投入することに大きな抵抗があり、民間施設については経済原則に任せている。本市のような取り組みは現時点でないと聞かすが、事例はあるか。

福祉健康センターは、平成12年4月の開館以降、契約で定めた賃借料を議決された予算に基づき執行しており、特段平和堂に対し支援は行っていない。ハローワークの移転を機に施設のあり方や市民福祉など、越前市や市民にとって良い施策になるよう議論させていた。

他の質問項目

・今後の市の財政の対応
・障がい者と家族の支援



未来 佐々木哲夫

平和堂賃借料を適正な額に減額せよ

平和堂4階の賃料は、契約書によると3か年経過ごとに公租公課等の経済情勢を勘案し、双方協議のうえ適正に改定できるとあるが、賃料がこの19年間一度も改定・減額されなかった理由は。

賃料改定の交渉にあつて、公租公課について路線価が下落していることを主張し、賃料の減額を申し入れている。市は、賃借するに当たり、契約に定める賃借料を議会で議決された予算に基づき執行している。

他の質問項目

・庁舎建設地の文化調査結果と石垣保存
・手仕事のまち越前市の観光コンセプト



未来 中西 眞三

市民福祉の向上に向け、市民センター整備を推進せよ

市民センター構想は、若者や高齢者、子供やその親の居場所の問題を解決する唯一の手段だと思っているが、市の所見は。

5年後には南越駅(仮称)開業もあり、市民センターの整備が中心市街地の商業振興にもつながると期待している。また賃借料については市の長年の要請に加え、議会の支援もあり大幅な引き下げとなる見通しである。今後は子供・高齢者福祉に造詣の深い市民の意見を伺い、議会に対しては引き続き丁寧な説明を行いたい。設計業務等に移っていく。

他の質問項目

・大雪被害の現状と課題について
・市総合戦略について



誠和会(自民・公明) 清水 和明

環境

不法投棄に対しては早期の対応が重要

一般的に土砂や廃棄物の不法投棄に関する通報があつた場合、どう対応するのか。

土地の所有者又は管理者から土砂、廃棄物等の不法投棄について市に通報があつた場合、市は土地所有者等と現場立ち会いをし、投棄物の中に投棄者の手掛かりがないかを調査する。手掛かりが発見されれば所有者等が警察へ通報し、ない場合は所有者等が投棄物の処理を行うこととなる。

他の質問項目

・市として排水処理施設の設備更新等に伴う助成を
・ユニバーサルデザインのまちづくりを



日本共産党議員団 加藤 吉則



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

福祉・教育

子どもの権利を守る仕組みづくりを

子どもたちから聞いた意見や悩みを聴きつばなしにせず、何らかの施策につなげたり、生きづらさを感じている子どもたちや当り前の生活を当たり前にできない子どもたちの意見を代弁・擁護する第三者委員会の設置が必要ではないか。

問

昨年、本市で開催された全国自治体シンポジウムにおいて、全国の先進事例を聞く中で、本市には子ども当事者の意見や悩みを気軽に聞く仕組みや、施策に変えていく仕組みがないことが課題と認識した。今回学んだことを踏まえ、今後の検討課題としたい。

他の質問項目

・30豪雪から明らかになった課題と対策
・介護保険の充実

市民ネットワーク

三田村輝士



待機児童解消に向け、保育環境を整えよ

1年前の答弁の中で、保育士の雇用体制が十分でないといったが、その後の処遇改善の進捗は。また、市の実情に応じた長期的な視点での施設配置計画・人員配置計画が必要ではないか。

問

民間保育園、認定こども園の保育士の処遇改善については、平成29年12月補正予算にて人件費加算分を計上した。また、施設配置計画・人員配置計画については、平成31年度改定の子ども・子育て支援事業計画で検討していく。

他の質問項目

・多文化共生社会の実現について
・(仮称)市民センターにおける屋内子ども広場構想について

諸派

吉村 美幸



第3子以降の学校給食費の無料化を実施せよ

子育て支援や定住化促進策として給食費の無料化を求める。一気に無料にするのが無理ならば、当面は多子世帯での第3子以降の児童生徒の無料化を望むが、市の考えやその経費は。

問

学校給食法において食材の経費は保護者の負担とされており、それに基づき給食を実施しているが、給食費の一部を市が補助することを禁止するものではない。仮に18歳未満の第3子以降の約1300人で推計すると、経費は年間7000万円程度になる。

他の質問項目

・生活保護制度について

日本共産党議員団

前田 修治



小学生以下のインフルエンザ予防接種に助成を

厚生労働省は、インフルエンザワクチンの接種は感染後の発症を低減させる効果があり、重症化予防に有効であると発表している。小学生以下は年2回の接種が必要であり、保険対応ではないため、複数の子を持つ家庭での出費は大きい。県内の自治体での子どもの接種への助成状況と、市の助成に対する考えは。

問

県内では平成20年から7つの自治体が10000円から30000円を助成している。子どもへの予防接種は任意接種であるため、市では現在助成を考えていない。

他の質問項目

・かこくとしふるさと絵本館の今後について
・武生中央公園の安全対策について

政新会

安立 里美



市議会本会議・常任委員会を傍聴しませんか。

本会議や委員会は、入口で住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

6月定例会日程

月日	時間	会議名
5月23日(水)	午前10時	本会議(提案理由説明)
28日(月)	午前10時	本会議(質疑)
29日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
6月1日(金)	午前10時	
4日(月)	午前10時	教育厚生委員会
5日(火)	午前10時	産業建設委員会
6日(水)	午前10時	総務委員会
7日(木)	午前10時	本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)
12日(火)	午後2時	

機構改革

大量退職期を迎えるの対応と庁舎完成後の機構改革の考えを示せ

大量退職時代が続いており、組織や機能の改革を進め、住民の福祉の増進に効果を上げるよう、職員の意識改革、組織運営の合理化や研修の充実を努めるべきと考えるが、新庁舎建設を見据え組織機構をどうするか。

問

縦割り行政の弊害を改善し、これまで以上に市民にとって利便性の高い行政サービスを提供していくことが強く求められている。現在、新庁舎完成を見据え、来庁者への対応のあり方の方の見直しと共に、職員のワークスタイルの改革を検討している。

政新会

川崎 悟司



観光

新幹線開業を機に、まちなかへの誘客を図れ

南越駅(仮称)の開業効果を中心市街地に波及させる戦略として、まちなかへの誘客を今後どのように進めていくのか。

問

まちなかには寺町や蔵の辻、タンス町などの落ち着いた昔の町並みや越前市三大グルメの飲食店が集中していることから、グルメマップ等を作成し、まちなかへの誘客を図っている。また蔵の辻や日野川河川敷、北府駅でのイベント等も実施されており、今後も引き続きイベント情報を発信し、まちなか観光を推進していく。

他の質問項目

・雪解け後の対応について

誠和会(自民・公明)

大久保健一



常任委員会委員長報告

議案を審査するために常任委員会を開催し、議会最終日に議案ごとに委員長報告を行っています。平成30年度一般会計予算の委員長報告を紹介します。

総務委員会

福祉健康センター賃借料改定の交渉状況を示せ

借上土地・建物管理事業に関し、委員からは、福祉健康センターの借上げに関し、平和堂との賃貸借契約書で、賃料の支払開始日より満3年ごとに消費者物価および公租公課といった経済情勢を勘案して、甲乙双方協議のうえ適正額に改定するものとするという条項があるが、これまで賃借料の改定はあったのか、と質問がありました。

理事者からは、平和堂と賃借料の交渉については減額の交渉を行ってきた。しかし平和堂からは、駅北パーキングの使用状況と実際に市が支払っている金額にかい離があるため駐車場分を増額してほしいとの要求があった。賃借料の減額分と駐車場の増額分を比較した結果、駐車場分を増額した場合の金額が賃借料を減額した場合の金額を超えたため、賃借料はそのまま据え置く判断をし、契約書に定めている賃借料を支払っている、との回答がありました。

福井鉄道福武線の次期支援のあり方を北陸新幹線開業までに検討せよ

公共交通対策事業に関し、委員からは、福井鉄道福武線維持修繕費等補助金について、沿線3市に対する越前市の負担率は28・7%と前回より下がったが、負担額が増加している経緯について、質問がありました。

理事者からは、県を中心に沿線の福井市、鯖江市、越前市において、今後5年間で最低限修繕しなければならない部分を協議してきた。その結果、全体で5年総額約30億円となり、そのうち国と県が22億4000万円、沿線3市で7億5000万円負担することとなった。そうした中で、負担率については沿線3市で協議した結果、福井市38・9%、鯖江市32・4%、越前市28・7%で妥結した。

※委員長報告
委員会で審査または調査を終えた事件が、本会議の議題となったとき、委員長から審査または調査の経過と結果につき口頭で報告すること。

このような経緯で金額が増加した、との回答がありました。

さらに、委員からは、福武線の次期支援期間は5年間だが、北陸新幹線(仮称)南越駅の開業を迎える5年目にその次の支援について考えるのではなく、その前から検討を進める必要があるのではないか、と質問がありました。

理事者からは、県や沿線市も並行在来線とえちぜん鉄道および福井鉄道と、地方鉄道が3つになることに強い危機感を持っており、県からは並行在来線とともに、他の地方鉄道2社についても一緒に検討する体制を調べたいと聞いている。沿線3市も福井鉄道が自立できるようにしないといけないため、並行在来線の経営計画案ができる平成32年度を見据え、5年の支援期間経過以降のあり方について検討していきたい、との回答がありました。

越前市自治連合会のこれから10年のあり方を考えよ

地域自治振興事業に関し、委員からは、自治振興会の連合組織である市自治連合会が、平成31年に設立10周年を迎えるにあたり、町内の区長が1年や2年で交代する町内も多く、各地区自治振興会が中長期的な視点で地区や町内を考えていけるのか疑問である。今後新たな20年目に向けての市民自治や地域自治振興事業のあり方を考えていく必要があるのではないか、と質問がありました。

理事者からは、自治連合会はこれまで、各地区自治振興会で共通する課題の解決を図り、地域自治の推進に貢献するとともに、地域と行政の共通課題である介護予防事業や地域防災対策事業等に関しても、各地区自治振興会と連携し、行政との協働によるまちづくりの主導的な役割を果たしてきた。10周年を迎えるのを機に、組織強化や後継者育成といった課題などを市と自治連合会で共有する中で、あらためて中長期的な視点に立って、市との協働のまちづくりの一層の推進に向け

地域自治のあるべき姿を考えていきたい、との回答がありました。

福井国体を盛り上げる方策を示せ

国体実行委員会運営事業に関し、委員からは、今年の福井国体を盛り上げるための仕掛けをどのように考えているのか、質問がありました。

理事者からは、福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会越前市実行委員会が策定した市民運動推進アクションプラン等に基づき、各地区においては花いっぱい運動やふるまい活動、各地区や個人、学校、こども園などにおいてはのぼり旗等の手作り歓迎装飾の作成や、本大会の総合開会式でもすま火の採火などを実施していく、との回答がありました。

これに対し、委員からは、年度の切り替えを活用し、地域での盛り上げに市民が一人でも多く関わられるような取り組みをしてほしい、との要望がありました。

また、別の委員からは、市内でなかなか国体への盛り上がりが見えてこない。さまざまな事業やイベントの際に、越前市で行う種目や見どころをPRし、市民が興味を持つようなアピールができないか、質問がありました。

理事者からは、市民の方にも協力いただきながら、国体実行委員会で作成したチラシやPRグッズなどを活用し広く周知を図るとともに、越前市出身のスポーツ選手等の協力を得ながらのPRも行っていきたい、との回答がありました。



福井国体で実施する花いっぱい運動

教育厚生委員会

消費者相談を充実させよ

消費者対策事業に関し、委員からは、最近の相談件数の増減と相談内容の傾向について、質問がありました。

理事者からは、相談件数は、平成26年度以前は1000件を超えていたが、警察による取り締まりや、出前講座などの啓発により、平成27年度は896件、平成28年度は783件と、減少傾向にあった。しかし、平成29年度は1月現在で860件を超えており、最終的には1000件を上回る見込みである。これは、スマートフォンを利用した新たな詐欺が横行しており、関連の相談が増加しているからである、との回答がありました。

委員からは、スマートフォンに不慣れた中高生の被害が多いと思われるが、若年層や中高生の親からの相談はあるのか、重ねて質問がありました。

理事者からは、年齢層としては、60代以上の相談件数が圧倒的に多く、20代未満については、平成29年度は59件となっている。ただし、この件数については、相談をしてこない、潜在的な人数が多くいると考えており、相談先がわからず、自分一人で悩んでしまっているようなケースも考えられることから、平成30年度の事業において、各企業の協力のもと、企業に出向いて出前講座ができないか検討している、との回答がありました。

これに対し、委員からは、自分一人でトラブルを抱え込んでしまうようなことがないよう、隠れた被害者までしっかり把握できるように体制づくりに努められたい、との要望がありました。



スマートフォンを利用した詐欺に関する相談が増加している

ひとり親家庭の子どもへの支援を充実させよ

子どもの未来応援事業に関し、委員からは、この事業ができた背景や支援事業の継続期間について、質問がありました。

理事者からは、平成29年度にひとり親の学習支援を子ども・子育て総合相談室で実施し、効果があつたことや、他地区においても実施を希望する声があつたことから、子どもの生活に関する実態調査を行い、子どもたちの生活圏域に居場所を提供し、家庭学習支援等を行う事業として、今回予算計上した。事業の期間としては、財源として利用を検討している国の地域子供の未来応援交付金は1年限りとなっているが、生活困窮者自立支援事業の支援内容にも学習支援事業があることから、この制度利用も含めて、今後検討していく、との回答がありました。

これに対し、委員からは、今年度実施したことが事業として形になってきたということであり、大変評価できることだと思われるので、取組みのPR、事業の後押しをできる体制の構築に努められたい、との要望がありました。

外国人児童・生徒の支援体制を充実させよ

外国人児童生徒支援事業に関し、委員からは、アクセスワーカーおよび日本語初期指導員をそれぞれ1名増員することに関連し、それぞれの役割と、勤務の実態について、質問がありました。

理事者からは、アクセスワーカーについては、保護者へのお便りのポルトガル語翻訳や、登下校の際の保護者への言語対応、教室等での先生方の補助等を行っており、日本語初期指導員については、外国から転入後2か月程度の間、言語や生活習慣のサポートをしている。両者とも学校に常駐ではなく、複数の担当校を巡回対応しており、増員はするが、なお充分とはいえず、今後まだまだ対応が必要と認識している、との回答がありました。

これに対し、委員からは、今後も外国人児童生徒の増加が見込まれることから、実態を把握しながら、適切な対応、配慮に努められたい、との要望がありました。

学校に導入するタブレット端末の使用方法を示せ

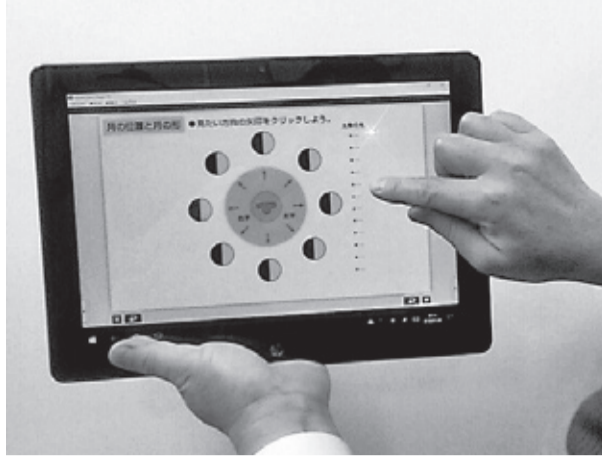
教育情報化推進事業に関し、委員からは、導入するタブレットをどのように児童生徒への

他の報告事項
●職員研修について
●地域経済応援ポイントについて

指導に用いるのか、また、その体制について、質問がありました。

理事者からは、タブレットの導入は、教師の教えやすさ、子どものわかりやすさという側面と、授業の効率化という側面から効果的であると認識しており、どうやって効率よく使っていくか、どの授業で使うと一番いいのか、現場の中で検討しながら進めていきたい、との回答がありました。

これに対し、委員からは、タブレットは非常に便利な道具ではあるが、使いこなすまでが大変なことから、教師と児童生徒の双方向性を図る中で、生きた教材として活用するため、教師にとって、使いやすい環境を整備するよう、要望がありました。



市内全小中学校に導入するタブレット端末

産業建設委員会

平成30年度の米の作付面積を示せ

農業生産総合対策事業に関し、委員からは、平成30年からの生産調整に関し、減反の廃止を受け、今年の転作率はどのようになっているのか、また、「日本晴」や県の推奨する「いちほまれ」の作付面積についてはどうか、と質問がありました。

理事者からは、生産調整については、減反自体が廃止されるのではなく、国主導の配分がなくなり、産地自らが需要に応じた米生産に取り組みることになる。平成30年に向けては、県農業再生協議会から市再生協議会に配分があり、生産目標は昨年と同じで、転作率は37・01%となっている。作付面積については、農協が営農計画書の取りまとめを行って

いる最中であるが、「いちほまれ」については、越前市では特別栽培米での対応で約50ヘクタールを予定していると聞いている。また、「日本晴」については、JA越前たけふとしては多くの作付けを行いたいという方針であるが、正確にどの程度の面積になるかは現在集約中で、今の段階ではわかっていない、との回答がありました。

これに対し、委員からは、作付けに関しては、地元JAとの協議は必要不可欠であり、JAの戦略によっても大きく変わってくると思う。兼業農家や認定農業者、集落営農組織によっても取り組み方が違ってくると思うので、越前市としては、現在の補助金体系の維持や、それぞれの団体・組織に合うような割振りを行うべき、との要望がありました。

グリーンツーリズムの実績と効果を示せ

農村活性化推進事業に関し、委員からは、グリーンツーリズムの利用状況について、質問がありました。

理事者からは、農家民泊等を実施されたのは、直近の平成29年度実績で延べ105軒である、との回答がありました。これに対し、委員からは、このグリーンツーリズムに関連する予算は、強化・推進委託料と推進事業補助金で、2つあわせて26万円が計上されているが、果たしてその金額で満足のいく結果が得られるのか、と質問がありました。

理事者からは、平成30年度については、グリーンツーリズムを軸としたツアーの企画を2つの団体で1回ずつ実施する予定である。これにあたっては団体側にも聞き取りを行っており、実施時期を考慮し、2回分の予算とした、との回答がありました。これに対し、委員からは、この予算額では事業の効果につながるのだろうかと感じるので、今後当事者と十分話し合って、利用者の増加や、リピーターの増加に向けた方策を見出してほしい、との要望がありました。

越前筆笥の後継者育成を支援せよ

工芸の里構想推進事業に関し、委員からは、越前筆笥の後継者育成に関する展望について、質問がありました。

理事者からは、県と実施しているものづくりの里プロジェクト事業の塾生が6人いるほか、新たに県外から越前指物組合の組合員の事業所に入りたいという人もおり、基本的に

後継者は育ってきている。その塾生たちが各事業所で修業しており、指物組合では、5年後には独立させるような仕組みづくりを行っている、との回答がありました。

これに対し、委員からは、一人前になるのに何年かかるかは決まっていけないし、もし技術を修得できたとしても、それで生活できるかは別問題であるため、組合そのものの屋台骨もしっかりしてもらわないといけない。次世代の後継者に、越前筆笥を背負うという気概を持って取り組んでもらうためにも、市としてもさらなる支援をお願いしたい、との要望がありました。



次世代の後継者に筆笥作りを伝える

市内消雪設備の整備を進めよ

雪寒地域道路整備事業に関し、委員からは、戸谷片屋線の商工会議所から戸谷町の区間で消雪のための水源調査を行うことに関し、調査で水源が見つかった場合、工事の日程はどうなるのか、質問がありました。

理事者からは、市道無雪化事業整備計画は平成31年度までの計画であるが、今回の大雪を踏まえて、平成30年度において改定を行う予定であるので、今回の水源調査の結果を次期計画に反映していきたいと考えている、との回答がありました。

続けて、委員からは、味真野地区で、県丹南土木事務所が日野川用水土地改良区のパイプラインの水を使って試験的に融雪を行ったところ、結果が良かったとのことで、広野ダムや榎谷ダムの放水を使ったパイプライン融雪の有効性が示されたと考える。高速道路東側の水源の確保が困難な場所において、そ

いったものの活用が可能なのではないかと、質問がありました。

理事者からは、広域農道については全てパイプラインの水を利用して消雪をしている。新たな路線についても、計画的に農業用水のパイプラインを使った路線もあるため、その利用も考えながら現在進めている、との回答がありました。

さらに、委員からは、農業用水のパイプラインが通っているところは、冬場でも維持改修のために水が流れている。これを利用すれば、各町内の狭隘道路も無雪化が進むのではないかと、質問がありました。

理事者からは、農業用水のパイプラインの利用にあたっては、県との協議の中で、あくまで幹線道路が中心となっているため、まずは幹線道路を中心に考えている、との回答がありました。

これに対し、委員からは、農業用水のパイプラインが通っている町内においては、それは有効に利用する手だてを取った方がいいのではないかと。各町内も小さな負担でできると考えるので、利活用について今後検討されたい、との要望がありました。

他の報告事項

- たけふ菊人形について
- 河川改修について

議員の寄付禁止ルール!

公職選挙法により、選挙区内での議員の寄付行為が禁止されています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

贈らない!

議員が地元のイベント等で寄付をする。

求めない!

有権者や町内会等各種団体が議員に寄付を要求すること。

受け取らない!

議員が寄付を持ってきてても有権者や町内会等各種団体は受け取らない。

City council topics

議会トピックス

審議会報告や議会モニターの意見について議論

議員協議会を開催

越前市議会では、議会活性化の取り組みの一環として、市政に関する重要な政策および課題その他議会の活動について、共通認識および合意形成を得るための議員協議会を積極的に開催しており、議員同士の自由な議論を行っています。

4月16日(月)に協議会を開催し、各種審議会の委員となっている議員による各種審議会の報告および議会モニターの意見について、活発な質疑がなされました。今後も定期的な議員協議会を通じて、議員間で活発な議論を行ってまいります。



議会モニター1年を振り返る

議会モニターの皆さんに、モニターとしてご活躍いただいた1年間を振り返り、市議会に対する思いなどをお聞きしました。

◆モニター制度とは

議会への市民参加を推進する取組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるように議会運営に対する要望や意見をいただくために平成28年に導入されました。

◆モニターの活動

モニターには、市内の男女8人(団体推薦5人、一般公募3人)を委嘱し、計10回のモニター会議を開催しました。

活動としては、モニター間の意見交換や議員との懇談会、県議会予算決算特別委員会の傍聴を実施した他、市議会の本会議・委員会を傍聴いただき、市民目線を感じたことを話し合いました。

◆モニター制度の位置づけ

議会モニターを今後継続していくため、制度を議会基本条例に位置づけ議会活動に反映させていく仕組みが必要であるとの意見がありました。

◆議会モニターのみなさん

- 北野 千恵氏 (公募委員)
- 西藤 浩一氏 (武生商工会議所推薦)
- 玉川 忠春氏 (連合福井丹南地域協議会推薦)
- 根谷 恵美氏 (公募委員)
- 福島 宏氏 (越前市自治連合会推薦)
- 藤谷 家也氏 (越前市社会福祉協議会推薦)
- 松永 恵美氏 (越前市女性会推薦)
- 松原美穂子氏 (公募委員) (五十音順)

議会モニターの皆さんからいただいた意見(抜粋)

議会活動

- 議員全員が一般質問してほしい。
- 一般質問は突っ込んだ質問をしてほしい。また一回言ったら終わりではなく、実現するまで質問してほしい。
- 一般質問の内容が重複しないようにするべき。また会派の数が多いと意見がまとまらないのではないかな。
- 一般質問がシナリオ化されている。一問一答方式をもっと生かし、活性化した雰囲気や伝わる内容にしてほしい。
- 傍聴すると臨場感がある。市民に分かりやすく、興味を持てる質問内容にし、議員も傍聴するよう声かけをすることよ。
- 市政について議員全体で勉強する機会があればいいのではないかな。議員は理事者以上に勉強してほしい。
- 委員会は身近な内容で質疑がされており、市民も聞きやすい。また、本会議だけではわからないこともある。委員会の傍聴にも来てもらえるよう努めるべき。また、委員会も本会議同様に中継してほしい。
- 夜間や休日に議会を開催し、市民が傍聴しやすい環境をつくり、議会に関心をもつきっかけにできることよ。

議員との意見交換

- 市民は議員の顔がわからないので、市民に対してアピールする方法を考えてほしい。
- 議会運営委員会の議員だけでなく、全員の議員と意見交換できることよ。
- 会派ごとに行うなど、4〜5人ぐらいの規模で意見交換できることよ。
- 共通のテーマで議員と意見交換ができることよ。

議会モニター制度

- 新しくモニターになった方に議会運営等に関する研修をしてほしい。
- 毎議会の傍聴は難しい。かなりの回数になるので、負担軽減策を考えてほしい。
- 制度自体は、全国に先駆けたいい制度であり、議会の質を高めるために携われたと思う。ただし仕事をしていると年10回のモニター会議への参加がなかなか難しく、負担が多かった。



モニター間での意見交換



議員との意見交換



福井県議会議場の見学

議員定数と報酬

● 視察研修を議員活動にどう生かしているか、市政にどう反映させているかをチェックすることも必要であり、今後の課題である。

● 地元の人はもちろん、多くの市民に顔を知ってもらおうと、いろいろな場所に行って、市民の声を聴くことに活用してほしい。

◆議会モニターの主な意見例

モニターの意見を受けて改善された具体的な事例として次のようなことがあります。

事例④	事例③	事例②	事例①
対策 政務活動費で支出する広報紙に、政務活動費を使っている旨を記載することとした。	意見 議員の広報紙が政務活動費で支出されているの知らなかった。	対策 すでに設置してあるが、さらに分かりやすくする。	意見 傍聴に対する意見箱を置いてほしい。
意見 一般質問がシナリオ化されているように感じる。	対策 平成29年10月に一般質問に関する議員研修会を開催。12月定例会からその成果を生かすよう努めている。	意見 ケーブルテレビの中継で一般質問発言項目があると分かりやすい。	対策 平成28年9月定例会より中継画面右下にテロップを入れていく。

議会モニターのみなさん、1年間ご協力ありがとうございました。

越前市議会は今後も、議会モニター制度をはじめ、市民と議会との語る会などを通じ、市民の皆様のご意見を積極的ににお聞きし、市民に開かれた議会を目指します。

問合せ 市議会事務局

TEL (22) 3426